



中村 修三 画

京都帝国大学の生態（一）

山内 年彦

曲がった新幹線の秘密（二）

太田典礼さんのこと

（聞き手 江宮 弘喜）

安田 守男

岡本 康

（四二二号訂正）

編集後記

# 京都帝国大学の生態（一）

山内 年彦

まえがき

戦時、戦後の混乱期を過ぎ新制大学となり早くも三十年の歳月がすぎた。後学の教授より戦前の大學生の様子を尋ねられたので帝国大學の二、三の事件につき生態を記して学問の向上発展の一助としたい。

但し、学内だけの生態の記述では興味が薄いので必要に応じて文部省や東京帝国大学の生態にも筆をのばすことにする。

## 第一章 総長室（軍事教練問題）

国立大学の長は大正初期まで府県知事と同様に中央からの任命であつた。だから長に重大な失敗があると電報一本でカサの台が飛んだ。現に、かねてから自由主義の傾向が強いとして中央からにらまれていた京都帝大総長に、官僚の沢柳政太郎が大正二年任命された。沢柳は文部省をカサにきて横柄な行動が多かったので京大教授陣の総すかんを食つて一年後に首になつた。総長の後任で、ごついたが結局、大学より教授を推薦し、この人を

文部省が総長に任命する実質的公選方法が京大で初めて実現された（教授の互選による公選は数年後に法制化された）。公選初代総長に医科歯科大学長荒木寅三郎博士が選ばれた（大正四年）。荒木は再選をくりかえして次章に述べる河上事件で引責辞任するまで十四年間総長をつとめた。この間、京大は内容が充実され優に東大と競合しうる総合大学に発展した。荒木は日本人としては大きな頭の持主で専門外に漢籍の造けいの深い温厚な好々爺であった。彼は前橋医専の出身で傍系から帝大教授になつたことは当時としては異例の抜きであった。彼がドイツのE・F・イッシャー教授のもとに留学中のまま日本の首相が訪独し皇帝を表敬訪問した。皇帝は荒木をドイツの大学教授にくれぬかと首相に話しかけたが、科学に関心をもたぬ首相が荒木の名を知っているわけはなく眼を白黒させた。

荒木総長時代に農学部総合校舎が完成され、穀物乾燥場の名目で、四百米トラックをもつ農大グラウンドが造られ、また野菜洗い場の名目で二五米ブルも造られた。国立大学としては最初の見事なスポーツ施設である。ところで大正十四年に文部省より国立大学に軍事教練実施について意見を求めてきた。大学当局がこの計画を喜ぶはずがない。教練実施で現役将校が大学に配置されれば学内事情は軍部に筒抜けとなる。大学では苦心の末、総長自ら答申書の文案を練ることになった。荒木総長は漢文に秀でていたので名文書で冗曲に教練実施に反対する趣旨の答申書を書き上げた。

さて話は東京帝大に移る。東大では大正九年以来、農学部農芸化学教授古在由直博士が総長であった。古在は長年英國に留学していたので帰朝した際に出迎えの妻の顔を忘れていたと伝えられている。西欧デモクラシーは体得していたであろうが反面、東洋流の豪傑の面影もあった。駒場の農大の化学実習で土の酸アルカリ度試験で学生がまごついていた時、大声で「わからなければ土をなめてみよ」とどなつた。さて軍事教練の諮問に對して東大当局も苦慮したことであろうが古在総長の答申書は「東京帝国大学は軍事教練実施に反対」の一行であった。京大荒木総長の答申書と比較して興味ある対比で

はなかろうか。私の考えでは荒木総長が弱腰であつたとは断定できぬ。京大は東大に対抗して施設その他を拡充する必要があつたので、下手に文部省を刺激しては京大のためにならぬと考へ含蓄ある文章で、教練反対の意思表示をしたものであろう。軍事教練は大正十四年軍事教官配属令により実施された。文部省は国立大学に一応諮詢はしたが、これはみせかけの民主的手続きをに過ぎなかつた。

## 第二章 教授会（河上事件）

大正六年（一九一七）レーニンの指導のもとにロシアで革命が起つたとの電報がある新聞社（特に名を秘す）に入ったが社内で誰もレーニンのことは知つていなかつた。そこで京大の河上肇教授に連絡しレーニンに関する詳細を知り新聞報道した。河上教授はロシア革命以前にマルクス、レーニンの研究では日本における第一人者であった。第一次大戦後は戦時の船会社のボロもうけの夢もさめて、やがて不況、失業、インフレになつた。時を同じくして西欧デモクラシー、マルキシズムの思想が日本に広がり社会的混乱時代となつた。大学も、この嵐の例外ではなかつた。河上教授は経済原論の講義でマルクスの資本論をわかりやすく紹介し、

つまり京大は東大に対抗するため西田幾多郎、河上肇、上田敏、英文学者で自由恋愛論の厨川白村等の知名な学者を教授として迎えた。国立大学でマルクス主義講座がもたらされたのは伝統的な自由主義と荒木総長の京大発展策の合作の賜物であった。東大では吉野作造博士を中心として新人会が結成され多くの左翼学生が参加し、新人会組織は他の大学にも波及した。京大では河上教授の影響をうけて大正十三年に社会科学研究会（社研）が結成されて唯物論研究が行われた。社研には各学部の学生も参加するに至った。インフレと不況の進行で労働界も動搖し労組の組織が広がり労働争議も増大した。

このような空気の中で河上教授のマルキシズムの思想が世論の支持をうけ始めた。河上は背が高くやせていて、羽織はかまの和服姿で講義し大講堂はいつも超満員であつた。専門の学生以外に各学部より学生、教官が講義を聞きに集まつた。京大当局も社研には困りはてた。社研は当初は唯物論を中心とする理論的論争をしていたが「理論と実践」の密着という唯物論の

金科玉条にのつとり学生たちは労働者の中に入りこみマルクス主義を宣伝し、かつ争議や選挙運動にも介入するに至った。そこで荒木総長も困りはて、おがみ倒して河上教授を社研の指導教官にまつりあげた。社研は大正十三年結成されたが既に大正十一年（一九二二）に地下で日本共産党が結成された。昭和三年第一回普通選挙が執行され色々な無産政党より立候補者があり全国で八名の労農代表が代議士に当選した。京都では労農党から山本宣治、水谷長三郎が当選。この選挙で河上教授も香川県に出向して労農党より立候補した大山郁夫の応援をした。当時は公務員では国立大学教授だけが選挙活動を許されていた。時の首相は田中義一大将、文部大臣は水野鍊太郎であった。田中義一は「田中覚書」を天皇に上奏し日本の大陸政策の大綱を明らかとした。田中覚書は第三インターの機関紙「共産主義インター・ナシヨナル」に昭和四年、英、独、仏文で紹介され全世界に知れ渡つたが知らぬのは日本国民だけであった。そのわけは大正十四年（一九二五）治安維持法が公布され、私有財産の否定その他共産主義的の思想の宣伝が禁止され、違反者は投獄されたからである。昭和三年三月十五日に地

下共産党の総検挙があり、社研からも二十余名の学生が検挙されたこの風波の中で、かねてから赤色講義で身辺が危くなつていた河上教授が安泰であるわけはなかつた。かくして昭和三年にいわゆる河上事件が起つた。昭和四二年に公刊された京都大学七十年史によれば昭和三年四月十六日荒木総長は河上教授に対しても理由で辞職を勧告した。一、社研の学生から治安維持法違反の嫌疑者が出た。二マルクス主義講座の広告文中の河上の文章。三、昭和三年二月の普通選挙で大山擁立を行つた河上の不當の発言。河上はこれらの理由は不当と考えたが、既に経済学部教授会で河上不信任の決議が全会一致で行わたることを知り「大学の自治は教授会の自治である」の京大における「不文律を尊重して四月一七日辞表を提出し、四月十八日依願免官となつた。一時は河上追放が行われれば学生ストも起ころうと懸念された事態が案外簡単に片づいたことには何か裏にありそうである。舞台裏のからくりは次の通り。

大学ノートを手にとり見ると、それは赤線が引いてあつた。その部分を拾い読みすると、どう考へても社会革命の必要性をアジつてゐるようなのでさすがの荒木総長も二の句が告げず大頭をなでて大臣室を退出せざるを得なかつた。この会見後に文部省の通達にもとづき総長より河上教授に辞職勧告がなされた。次に河上事件が大詰めにきたころ、経済学部の商業経済担当の河田嗣郎教授に調査のため大阪市に出張の命令がでた。河田は大した調査でもないので首をかしげたが、命令通りに大阪に出張した。河田が出発したのが確認された直後に経済学部緊急教授会が開かれて河上、河田両教授欠席のまま河上教授の不信任決議が全会一致で可決された。夕方河田は大阪より帰り、このことを知り計られたと思つたがすでにあと祭。

河田がいる以上、河上追放は絶対不可能と信じられていた。それで誰が計画したかは知らぬが河田は苦肉の策にかけられたわけである。

河田は河上事件後に京大を辞し大阪市に招かれ大阪市立商科大学の初代学長に就任した。彼には関西財界に多くの支持者があつた。これは河田教授が身をもつて河上追放が不合理であることを立證したものと言えよう。京大当局が示した河上辞任の三理由が、こまでもくいの小細工であることは誰でもわかる。もし辞任の理由に堂々と

（やまとうち としひこ 故人）  
この執筆は一九七六年  
元京大理学部講師・動物学）

## 曲がった新幹線の秘密（一）

安田 守男（聞き手 江宮弘喜）

今から四十年ほど前、新幹線建設にともなう激しい住民運動が南区でありました。私はそれを調べて歩くうちに、安田守男さんと出会いました。以下は安田さんから聞き取ったものです。

「もう古いことなので、忘れてしまったことが多いですよ。そうですね、北牧孝三さんも亡くならはつたから、あの闘争を語れるものは残り少なくなりましたね。」

「当時私は大学を昭和三四四年に卒業して三年ほど会社勤めをしてか

ら家業の畠屋を手伝っていました。新幹線の問題が持ち上がったのは三四四年頃で運動の山は三十七年から八年でしたね。国鉄側は三九年十月の東京オリンピックにまに合わせるというのが至上命令で、そのためには三七年四月一日には用地買収をおえ、工事にとりかかり一年後には試験列車を走らせるというのが最讓歩したスケジュールだったのです。

「当時の京都駅は塩小路の正面こそ市電が集結し、その向かい合っ

て中央郵便局があり（現京都タワー）、その北側には丸物百貨店（現近鉄）がそびえ、またそのすこし北側には東本願寺の大屋根、そして駅前旅館やら仏具屋さん、さらに銀色に足らぬ三理由をあげたものと思われる。荒木総長は昭和四年に、まだ任期が残っていたが自発的に総長を辞任して、河上事件に対する責任をとつた。

（続く）  
「南口は、ビルディングはおろか、市電も走っておらず、穴ぼこだらけのアスファルト舗装道と砂利をひいた広場が横たわっていました。それを取り囲んで自転車預かり所、パチンコ屋、めしやがぱつぱつとならび、その南に中小企業の工場がのきを連ねていて風景でした。

そして油小路（現堀川通り）以西は、店がびっしりと軒をつらねた八条商店街がありました。いつも人がいっぱい活気のある商店街でした。私の店はその八条通りの堀川（旧）北西角でした。猪熊通り角には三本立て五十五円いつも満員の映画館「富士映劇」がありました。映画館側の大宮通り角の回転焼屋はあんこのいっぱいつまつたらやきを油で揚げたのが評判で、夕方には五、六人の客が並んでいました。大宮通りより西は北側が東寺の境内に続く家並みであり、南側には鶏肉店、井上

タバコ店、田中薬店、写真店、橋本漬け物店、パン屋、ちょっと離れて八条公設市場があり、六孫王神社が機関車の煤煙にけむりながら近所の子供らの遊び場になつて連なる瓦屋根の民家が、東山、北山、西山の麓まで続いていました。

そしてこの六孫さんから西も商店がまばらにあり、そこに藤原八百屋店や北牧さんがあとでひとつこりと呼ばれています。

「あれは昭和三十四年ごろだったかな、新幹線建設の話しが持ち上がりた。発表によると、そのコースは東山をトンネルでぬけて鴨川を渡り、京都駅南口が新駅となり、そこから大阪まで一直線に線路を新設する、ちょうど八条商店街の北側の巾十一メートルが予定地帯で、そこは在来線とずつと離れているわけですから、在来線と新幹線にはさまれる家々（ポケット地帯）も発生する。向かい合っている商店が並んでいるから商店街やなのに、その片側が全部なくなつてしまふ。また、立退地帯は持ち家あり、借家あり、借家といつても一軒家あり、長屋あり、アパートあり、あるいは借家に間借りしている人ありで、みなさんそれぞれ立場（補償条件）が異なる。ある

## 燎原

環境はどうなるのかという問題が提起されたのです。またそのコースは六孫王神社の本殿を踏みつけて通ることになつており、まつたく地元の事情を無視したものでした。」（筆者注・六孫王神社は、清和天皇の六番目の皇子「源經基（みなもとのつねもと）」を祭り九六三年に建立された神社。この神社の広大だった敷地は、明治二〇年、京都大阪間の鉄道敷設でとられ、また同四年の東海道線建設ではさりととられた。）

「北牧さんはさっそく新幹線立退反対同盟というのを自分の町内で民商の藤原さんらと立ち上げたのです。そしてその北牧さんらの動きが広がつて八条通りの油小路から御前通りまでの商店街や町内会が名乗りをあげて統一して運動をしていこうということになり「国鉄対策京都地区連合会」というのが八団体（七百名）で構成されました。しかし連合会に加わらない人もかなりいたようですが、それは組織めいたものが聞こえてこなかつたのでその数は我々にはわかりませんでした。」

（筆者注・二〇〇一年発行の中坊公平氏の本によれば、丸和百貨（五〇店舗）は連合会には属さず中坊弁護士に国鉄との交渉を依頼した。）「連合会の主だった役員には、商

店会の会長やら地域のボスをたてて、とにかく足並みがそろうように北牧さんは苦労していましたな。牧さんは苦労していまして、立退かされるというので、どうしても取れるだけとすから、どうでも取れるだけとつたらという考え方にはする人もいます。その立退補償ということに焦点をあわせると土地評価の違い、あるいは借家の場合、地主、家主、借家人、間借り人という立場の違う四者がいるのが普通で、その四者それぞれ補償内容が異なるのは当然です。ところが当時の立退交渉は立ち退かせる方が地主との間で補償額を一括できめ一括で支払い、あとは地主が家主に、家主が借家人、借家人が間借り人へと適当に分けたらよいというよくなやりかたが一般でした。

私達は新幹線建設そのものには反対しているわけでない。といつて自分たちが立ち退かされるのは反対だから、よそを通ればいいと

いうものでした。」

「国鉄に対する連合会の具体的な要求として、その一是六孫王神社を寸断することは許さないという

もので、中村議長が六孫さんの由

緒や歴史、文化遺産としての価値

を調べ上げて、陳情書や要望書に

して当局へ提出しました。これが

当時連合会が宣伝用に作った広告

マッチです。片面は「働く若者の

洛南センターを作ろう」反対側は「働く

母親と子供の児童センターを作

ろう」と書かれ、その予定地は八

条大宮東入ルとまで指定されています。しかも背の部分に銀行名が

かかれているところをみるとこの

銀行がこのマッチのスポンサーだ

ったのでしょうか。この広告マッチ

のアイデア、デザイン等は中村

も一致して賛成して、連合会は闘争のスタートをきつたのです。」

「猪熊八条上ルにいはつた中村先生（高校教師）が連合会の議長と

いうことで積極的にうごかはつた

のですが、この人は情のある頭の

切れ人でした。北牧さんが戦略

をたて、中村議長が事務局のみん

なと討議しながら具体的に戦術を

立て、運動を展開していくのです。」

「連合会の運動の柱は、一つ文化

遺産を守る、二つ新幹線は在来線

の敷地内に建設し、あわせて高架

にせよ、三つ住民の生活を守ると

いうものでした。」

「国鉄に対する連合会の具体的な

要求として、その一是六孫王神社

を寸断することは許さないという

もので、中村議長が六孫さんの由

緒や歴史、文化遺産としての価値

を調べ上げて、陳情書や要望書に

して当局へ提出しました。これが

当時連合会が宣伝用に作った広告

マッチです。片面は「働く若者の

洛南センターを作ろう」反対側は「働く

母親と子供の児童センターを作

ろう」と書かれ、その予定地は八

条大宮東入ルとまで指定されています。しかも背の部分に銀行名が

かかれているところをみるとこの

銀行がこのマッチのスポンサーだ

ったのでしょうか。この広告マッチ

のアイデア、デザイン等は中村

も一致して賛成して、連合会は闘争のスタートをきつたのです。」

方針を正面にすえた住民運動を展

望していたのですね。」

「二つ目は分離補償のルールを作

りこれが補償交渉の前提だと突き

つたのを、その土地の関係者は全

て交渉権利をもつということを認

めたことです。それまで土地所

有者だけが補償交渉の資格者であ

ったのを、その土地の関係者は全

て交渉権利をもつということを認

めたことです。それまで土地所

「それから国鉄の交渉の係が一軒づつ対象者を訪問しました。補償額はそれぞれ土地建物の評価が違うから個別の交渉というのが国鉄側の表向きの理由でしたね」

「補償額はまるで低いものやつたと思います。かろうじて郊外に代

替地が買える程度やつたんで、こんな駅前のにぎやかな地域からなんでそんな郊外にいかんならんねんと、みんな怒つてしまつたんです」

(宇治市在住・やすだ もりお)

（続く）

## 太田典礼さんのこと

### 岡本 康

(1)

太田典礼さんは、一九〇〇年(明治三十三年)十月、大江山を源にした野田川が流れる三河内村の三〇年もつづいた医家に生まれました。

権行使できる普通選挙法を公布しました。同時に、労働運動や民主運動の前身を阻むため、弾圧法規の治安維持法も公布したのです。

(2)

治安維持法は、天皇主権擁護、国民の権利無視の悪法として、京大学生のなかでも自治会を中心には反対運動があつたようです。そのことであつてか政府は、一九二六年(大正十五年)一月に京大学生自治会連合会の活動家を、治安維持法、国内適用第一号として弾圧し、学生三十八名を逮捕したのです。

天皇制政府は、一九二八年(昭和三年)の選挙結果を恐れ同年三月十五日に、日本共産党への大弾圧を加え一六〇〇人にのぼる党員と支持者を逮捕しました。山本宣治代議士は治安維持法で捕らえられた共産党員への拷問実態を、徹底的に国会で追求、政府を追いつめました。

出馬当選し、天皇制政府を驚愕させました。

京大医学部には、山宣さんの従兄弟・安田徳太郎さんがいて何かと山宣の応援をしました。安田さんは太田典礼さんと親友でしたので影響を受けたようです。

(3)

安田徳太郎さんは太田典礼さんに「東京の無産者診療所には、担当医がないそうだ、君いつてやれよ」とすすめました。太田典礼さんは、このすすめは「研究テーマがあるので」断りましたが、典礼さんは実践の人です。京都で具體化するにはと、部落解放運動の闘士たちと相談したのです。

京大の傍に大きな未解放部落がありました。今の田中玄京町です。そこに、診療所を開設してほしいとの要望でした。典礼さんは、早速行動に移つて、郷里から金を取り寄せ二階家を借りました。看板は無産者診療所とせず「洛北診療所」との看板をだしたのです。

一九二五年は日本社会にも多くの出来事があった年です。政府は国民の要求に押され、納税額に関わらず二十五歳以上の男子が選挙出兵させました。日本共産党の呼

動を禁止する通達をだしました。

一九二七年(昭和二年)には、日本の軍部は陸軍を中国山東省に

出兵させました。日本共産党の呼

動による刑罰を死刑にする法案を出しましたが、山本宣治代議士の国会での反対を恐れ、同

トランプが蔓延し、医療に困っている貧困家庭が多く、在日朝鮮

びかけで反対運動がひろがりはじめ、宣治代議士を右翼を使い暗殺しました。解放運動犠牲者救援会は、「『山宣』の死を無駄にしないため、無

人宣」の死を無駄にしないため、無

産者の病院・診療所をつくろう」というアッピールをだしました。京大の赤い医師グループの安田徳太郎さん・太田典礼さんたちは、このアッピールに心から賛同し、いかに関わるかを相談しはじめました。

(7) 2002年11月15日

## 燎原

人も多く住んでいたのです。

患者は夜だけの診療なのに「洛北診療所」は医療費が安い、医者の典礼さんは朗らかでおおらかな人や、差別せえへん医者や、部落の屋台の「おでん」をほおぱりながら往診してくれるお人や」と大人気。

夜間診療だけなのに患者は五十人も押しかけてきました。ついに夜間診療だけではさばききれなくなり、後輩の杉山医師の応援を受けて昼間の診療もはじめました。

こうした盛り上がりのなか、部落外からも患者さんが増え診療所は何時の間にか進歩的な人々の溜まり場になりました。

患者としては、戦後共産党の幹部となつた黒木重徳さん、代議士となつた谷口善太郎さんなども来るようになり、特高警察は大学の産婦人科教授に「太田は赤だ、診療所をやめさせろ」と圧力をかけるようになりました。

(4)

太田典礼さんは、警察の圧力があつても平気、京大看護婦さんのストライキにも、能勢弁護士さんの消費生協運動も応援するなど頑張っていました。京大の岡林教授は警察の脅しから、典礼さんに「大學を辞めるか、診療所をやめるか」「どちらかにしてくれ」と言い出

しました。典礼さんは困つて即答をさけた時、軍医として入営せよとの電報が来ました。

即刻入営の通知なのです。入営を聞いた部落の闘士たちは「陸軍は診療所つぶしを企んだんや。反戦デモをしてやろう」と言い出しました。驚いた典礼さんは、「それは、やめてくれ。犠牲者を出すだけだ」と必死で止めました。

怖いもの知らずの部落の患者さんたち、典礼さんの伏見の陸軍病院入営への見送りの際、何をしかずかわかりませんので看護婦の長田さんだけに見送りしてもらう事をやつと納得してもらいました。陸軍病院の軍医として典礼さんは、

上海に三ヶ月いて軍隊から帰つてみると、診療所の設備はなくなつており、やりようがなく閉鎖しました。

典礼さんは大学で研究を再開し学位論文を提出しました。この学位論文は、ガンの染色体細胞についての名論文として教授会で高い評価を受けました。ところが文部省は、警察の「太田典礼は、無産者診療所を作った赤だ」という通報に学位授与を戦後まで握りつぶす非道な事までしました。

(5)

特高警察は、戦前の暗黒時代、

太田典礼さんを無産者診療所運動の共鳴者として、また、進歩的な文化人グループの一人としてマーケし弾圧の機会をねらっていました。

典礼さんは共産党の支持者として多額の資金を定期的に財政部を担当していた黒木重徳さんに託していました。

黒木重徳さんは京大法学部を卒業し左京区百万遍で古本屋をしていましたが、地下に潜り共産党院入営への見送りの際、何をしかずかわかりませんので看護婦の

黒木さんは、緻密で口の固い人と知識人の中では絶大の信頼があった方でした。その黒木さんが逮捕されました。

黒木さんは、獄中で竹中恒三郎さんへ「困ったときは宮津で病院を経営している太田さんにお願いに行け」といわれ、出獄した竹中恒三郎さんは、早速、寄付をお願いにいきました。太田典礼さんは病院の業者に支払う金をボンと寄付されたのです。

そのメモを特高警察が入手したのです。非合法の共産党に寄付した動かぬ証拠がでてきたと、特高警察は、「一九三九年（昭和十四年）典礼さんを逮捕、西陣署に一年間も留置したのです。

この時、能勢弁護士も人民戦線敗戦五ヶ月前このままでは栄養失調で死ぬ恐れがあると考えて、吐

この事件での判決は懲役二年執行猶予三年でした。

(6)

太平洋戦争が始まった翌年の一九四二年（昭和十七年）九月二十日、太田典礼さんは、またもや逮捕されました。大阪府警察本部の警官が宮津の典礼さん宅にきて逮捕し、阿倍野署に連行しました。敗戦の気運がたち込みはじめた頃の事です。

特高は逮捕理由もいわず「この國賊め」と、殴る蹴るの拷問をつけました。太田さんは持ち前の反骨精神を奮い起こし、鬪いました。

その中で典礼さんが、戦争の拡大に批判的な産業組合青年部に招かれ講演したこと、典礼さんの発表してきた諸論文には反戦思想が濃厚だということ、を理由にした逮捕だということがわかりました。それでつづきとした病院の院長だから執行猶予がつくと弁護士は予測を述べていましたが、典礼さんは懲役四年の実刑をうけ堺刑務所に送られました。戦争末期の堺刑務所には三〇〇〇人の囚人がいて、共産党の指導者国領五一郎さんなども収容されていました。

太田典礼さんは、医師でしたので、

血したと仮病患者となり、執行停止処分で担架にのり保釈出獄したのです。

(7)

宮津に帰りましたが宮津湾にもアメリカの飛行機が飛んできて海軍の艦艇を何隻も撃沈しました。こうした中、体調が回復した八月十五日の待ちに待つた敗戦の報を聞いた太田典礼さんは喜びを爆発させました。京都から東京へと民主政府をつくろうと、獅子奮迅の勢いで走りまわり、運動を始めました。

日本共産党にも入党し国会選挙にも出馬されたのです。故郷の三河内村広場で「天皇のため、何百万の日本人は犠牲になり死んだ。自分も投獄された、これからは民主主義の時代、国民が主人公になる時代の幕開けがきたのだ」と涙を流しながら、感動的な第一声をあげたのです。いまでもこの時の演説と、宮津市公会堂での侵略戦争を引き起こした天皇の責任を糾弾した名演説は、丹後の人々の語り草となっています。

(8)

医師としての発明、世界にも広がった太田避妊リング・医学史にも造詣が深く、文化人としても多

面的に活躍された太田典礼さんは、死後、野田川名譽町民として顕彰されています。私は知人から「丹後には、治安維持法で弾圧された方のことは、聞きませんなあ」といわれ、気になっていました。

調べてみると、太田典礼さんは野田川町で、岩滝町では日本共産党京都府委員長をされていた河田賢治さんが名譽町民として顕彰されています。太平洋戦争前、労働運動の指導者として治安維持法により十六年間も獄中にあった河田賢治さんの顕彰は嬉しいことです。

最近、典礼さんの愛息の太田亘氏（太田病院事務長）にお会いしましたが、太田典礼さんとのことは、民主陣営の中で、あまり知られていません。

太田亘氏のご夫人は、現在の野報社などの努力で紹介され、またが、太田典礼さんとのことは、民主陣営の中では、あまり知られていません。

田川町長です。太田町長は町民の立場で、町民の声をよく聞く行政へと努力され、支持も多いと聞きます。

(おかもと やすし)

治安維持法同盟京都府本部長

訂正

一四二号(4)ページ上段 32行目

福島種臣→副島種臣 以上

村島昭男氏の指摘による。

## 編集後記

多数に対するディスコ爆弾攻撃がありました。

北朝鮮から、はじめて北朝鮮に

きに朝鮮のウランの危険を論じられるものでしょうか。

ラクへの「先制攻撃」をブッシュ大統領へ委任しました。世界各地でその軍事的準備が着々と進められており、日本でも例外ではありません。

一たんあきらめた有事法制を、やはり今年度に成立させようという動きがはじまりました。

去年のNYの九・一一事件からはじまったこのような動きでテロがかりができたことは、一步前進でした。しかし核ウラン所有を明

かにした北朝鮮政府には、核廃絶の原則に立った要求を強く進めなければなりません。それにつけて

くパレスチナ人の自爆攻撃はつづき、沖縄返還時の密約で米艦船が日本に自由に核兵器をもちこめることが情報公開によつて明らかになつ

TEL FAX	一四二号(4)ページ上段 32行目 福島種臣→副島種臣 以上 村島昭男氏の指摘による。
三三一三〇一 井手 幸喜	訂正
一一二三 第三住宅	訂正
〒六〇六一八一〇七 京都市左京区高野東開町	訂正
三三一三〇一 井手 幸喜	訂正
一四二号(4)ページ上段 32行目 福島種臣→副島種臣 以上 村島昭男氏の指摘による。	訂正